

北小の校長室から No.4

～「あいさつ」「そうじ」「べんきょう」「えがお」笑顔あふれる北っ子合い言葉～

感謝の気持ち

小林子ども守り隊初代隊長 清倉範夫 様が、令和6年8月2日(金)に、ご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

夏季休業中のことで、保護者の皆様にお伝えするのが遅くなり申し訳ございませんでした。子どもたちにもどう伝えたらよいか考えた結果、本日始業式で全校が集まったときに、私の方から子どもたちに伝えさせていただきました。

清倉さんは「小林子ども守り隊」を創設された方です。清倉さんは小林に引っ越してきた次の日から交差点に立ち子どもたちの見守りを始めたそうです。それから22年間、北小学区から始まった子ども守り隊は、やがて小林小学区にも広がり、今では合計20名ほどの方々が「小林子ども守り隊」として子どもたちの登下校の見守りを行っています。登下校だけでなく、校外学習のバスの見送りや、マラソン大会での沿道での見守り、陸上大会や修学旅行の日は、どんなに朝早い出発でも必ず見送りに来て下さいました。

清倉さんはいつも「子どもたちの元気な姿を見ると自分も元気が出ます」と話していました。私は始業式でその想いに触れ「みなさんがこれからも安全にそして元気な笑顔で登下校することが、清倉さんへの一番の恩返しだと思っています」と話しました。「小林子ども守り隊」の方々は、今日も朝から子どもたちの登校を見守って下さいました。「これは決して当たり前ではありません。とてもありがたいことです。子ども守り隊の方々は、暑い日も寒い日も見守りを続けてくれています。私たちは日々感謝の気持ちを忘れてはなりません。「おはようございます!」「行ってきます!」「いつもありがとうございます!」笑顔であいさつを交わしましょう。そして交通安全に気をつけながら元気に笑顔で登校しましょう」と話しました。

言葉を選んで話したつもりですが、毎朝あいさつを交わしていた子の中には、大きなショックを受けた子もいるかもしれません。ご家庭で話題にされた際はどうかご家庭でのフォローをよろしくお願い致します。